

町衆の心意気!!モダンライフの城下町

基本テーマ【住遊融合・新しい都市核】

個店の魅力で人を惹きつけるまち

個店それぞれが魅力的になることによって人が賑わい、また、人を惹きつけることができ、その魅力が集積されて全体の魅力となるような商業集積があるまち。

商店街ベースの活動でレベルアップ
個店力を総合的にアップ
まちの魅力をアップ

お気に入りの風景やスポットのあるまち

そこに住む人や訪れる人が、お気に入りの風景やお気に入りの特定の場所を持てるような、文化の香りがし、歴史を感じるなど、他所にはない独特の雰囲気を持った場所のあるまち。

地域資源の発掘とPR・利活用
皆が関わり連携する市街地改善プログラムの実施

長い時間ゆっくりと過ごせるまち

そこに住む人や訪れる人が、買い物したり、風景を楽しんだり、学んだり、遊んだり、落ち着いた場所を持ったり、時間をかけてまちを歩いたりすることができるような、長い時間過ごせるまち。

まちなかで時を過ごす
和歌山城で時を過ごす

高齢になって生き生きと暮らせるまち

子どもから高齢者まで、そこに住むことで生き生きと暮らせ、地域のコミュニティがあり、趣味を楽しむ生活ができ、活動的な暮らし空間や時間があるような、地方の都市核として、洗練された生活スタイルで暮らせるまち。

あらゆる人がまちに集まる仕組みを作る
交流者に優しいまちを演出する
居住者に優しいまちを演出する

- 各種サービス制度を開発
収益性や顧客管理等に利用できるデータ蓄積性を持った各種サービス制度や事業の開発等を行う。(TMOが立ち上げを担い商店街が実施)
- 商店街が連携するシステムを構築
市内全商店街との連携を目指す。(逸品の中心市街地での販売、ホテルなどへの共同出店、インターネット商店街の構築など)(TMOが立ち上げを担い商店街が実施)
- 商業活性化会議の設置
商店街が連携し、商業者ベースの事業展開を図るため、意欲ある店主で構成される会議を設置する。(TMOが立ち上げを担い商店街が実施)
- 友の会を運営
ぶらくりファンの市民と商業者が協働して連携組織を設立運営する。(商店街などが実施)
- ★観光商店街形成支援
商業集積を交流の場としても捉え、観光の要素を加えることで、観光客にも対応できるようにする。(TMO・商店街などが実施)
- 活発なテナントミックス^(※1)
土地・建物の流動化を促しながら、商業集積全体の店舗の適正配置を視野に入れ、テーマ性も意識しながら様々な新業種などの展開、不動産プロジェクトを実施する。(TMOなどが実施)
- 店の資源を利用して個性化
商業者の資源である建物・内装(店)、商品(物)、専門家(人)に磨きをかけ、個性化し、それを前面に「売り」としてクローズアップさせ、個々の店を独自化、個性化する。(商業者・商店街などが実施)
- 商店主の自己啓発
商業・サービス業専門家を招き、指導することも含め、勉強会や商入塾を開催し、商業者の実力を高める。(商店街・商業者などが実施)

- ★地域資源情報の地図蓄積活用システム構築と運営
地域資源とを感じる場所の写真を、市民がホームページに掲載でき、それを中心市街地の地図上で場所を確認できたり、キーワードなどで選択的に地図上に再構成できるシステムを構築する。例えばテーマを決めた地図の作成や、市民のネットワークでお気に入りのスポット情報の地図などを作成し、交流客にも利用できるようにする。(市民・TMOなどが実施)
- ★地域資源発掘市民参加イベントの開催
様々なイベント形式で地域資源情報地図蓄積活用システムを利用した地域資源の掘り起しを行う。例えば、好きな場所アンケート、和歌山まちフォトコンテスト、小学生が見たまち風景展など、市民参加で実施する。(市民・NPOなどが実施)
- ★風景の改善や規制の検討
活性化を図る上で問題となっている、ゴミ、落書き、治安、掃除など様々な問題に、地域住民、市民、商業者などとチームを組んで検討、解決にあたり、合意形成を図りながらまちのあるべき姿に沿って、不具合を生じている規制の緩和や強化にも取り組む。(TMO・行政などが実施)
- ★市街地のミニ整備・改善
風景・景観の向上を図るため、例えば芝生の広場整備、オブジェの設置、ベンチの塗り替えなど、行政・TMO連携による小規模な市街地の整備改善を行う。(行政・TMOなどが実施)
- ★街並み点検隊をつくる
中心市街地の街並みについて、誰が何を出来るかを明確にすることを旨とし、有志のグループで活動できるようにしていく。(TMO・市民などが実施)

- ★城フェスタ開催
既存イベントに和歌山城を中心とした新たなイベントを加え、「城フェスタ」として開催し、本市のシンボルである和歌山城の全国的なPRをはかり、観光客等を誘導するなど、市街地交流人口増加を促進する。
- ★滞留環境整備を誘導
長い時間ゆっくり過ごせる快適な滞留環境を提供するため、オープンカフェなどの交流スペースを市民・行政・商業者・TMO・NPO等が連携して行う。(TMOなどが実施)
- ★まちなかに展開するギャラリー
商店街を時間消費型商店街とし、同時にまちづくりへの市民参加意識の醸成を図るため、アーケード下に展示棚、ベンチ等を備え、「文化サークルの発表の場」として活用、運営する。(市民・NPO・TMOなどが実施)
- ★駐輪対策システムの構築
歩行者の安全確保と商店街の景観整備、快適な消費空間確保を図るため、最も身近な交通手段である自転車の駐輪について、臨機応変に誘導する仕組みを検討し、実施する。(商業者などが実施)

- ★市民・学生・行政 まちなか連携組織設置
学生がまちに入り、市民や行政、商業者等と連携しながら様々な活動が出来る組織と拠点を設置する。(TMO・行政・市民・大学などが実施)
- ★ユニバーサル^(※2)な店開設(支援)
高齢者、障害者その他様々な人々に対応した商品を売る店舗、或いは自らが販売する生産販売一体型工場の開設など、ユニバーサルな発想を生かした店を開設する。(TMO、NPOなどが実施)
- ★和歌山陽だまりのまちづくり ともち村づくり促進
ともちの居場所・体験場所を確保し、遊びや学びの場とする。(ともち店長が準備から参画するフリーマーケットなど)(NPOなどが実施)
- 100円バス券サービス
市の元気70バスと連動して、買い物をしてくれた高齢者等にバス券をサービスし、無料で中心市街地に来れる仕組みを作る。(TMOなどが実施)
- 公共の出先機関の窓口等の設置検討
公共の利便性向上を図り、あわせて市民の交流の場を創出するため、公的品格を持つ窓口や交流センターなどの設置を検討する。(行政などが実施)

- ★まちにコンシェルジュを配置
まちや商店街をよく知る人をコンシェルジュ(案内人)として配置し、交流客の利便性を高め、まち独自のシステムとしてまちの雰囲気の形成にも役立てる。(TMO・商店街などが実施)
- ★和歌山陽だまりのまちづくり「心のさしかけ」設置
まちなかに気軽にに行ける小規模の交流の場を設置する。(例えば、ものづくりなどの趣味の会、小ギャラリー、中高年の居場所等、小回りの利く運用が出来る場の設置)(TMOなどが実施)
- ★優しい花のまちに演出
まちに来る人を優しく迎える雰囲気作り、景観美の創出を推進し、例えば、店舗や住宅の入り口に花を飾り、その仕組みを循環系の環境配慮の基に構築する。(市民・TMO・行政などが実施)
- ★中心市街地のバス路線の整備
駅や市全体から中心市街地へのバスアクセス利便性向上のため、ぶらくり丁周辺を拠点とするバスターミナル等を整備する。(民間企業などが実施)

- ★タウンモビリティ^(※3)のまちを構築
タウンモビリティを考える「まちづくり人づくり塾」などの開催に始まり、店内バリアフリー化促進、電動スクーター等の確保・配置、官民協働システム構築に至るまで、タウンモビリティをキーとして、できることから始め、時間をかけて、全ての人に優しいまちを実現する。(市民・NPO・TMO・行政などが実施)
- 電線共同溝(市駅小倉線一部)整備
子どもや高齢者、車椅子を利用する人々を含めた全ての人たちが、安心・安全に歩行できる環境作りや災害時に強い防災環境作り、また景観の向上を目指し、市駅からぶらくり丁への動線である、九家ノ丁交差点より本町3丁目交差点間の電線共同溝、歩道整備を行う。(行政が実施)
- 公園を中心とした多機能な住環境を整備
中心市街地内の公園周辺地域を、定住人口の増加、福祉拠点及び市民の憩いの場などの複合的な場所として整備を図る。(行政などが実施)

連携してまちづくりを推進するために

自分達それぞれにできるまちづくり

- 市民とTMOと行政が連携するまちづくりの推進
 - 「まちづくり1,000人会」の運営
まちづくりの知識等を市民に浸透させ、参加意識を醸成し、市民参画レベルの向上を図り、将来の市民提案市民実践の実行者となることを目指し、登録制の市民まちづくり組織の設置運営を行う。(行政などが実施)
 - ★市民参画による協働の企画立案・計画・実施
市民・住民・NPO等がTMOや行政と協働・連携して、基本方針の4つのサブテーマなどを実現するため、企画立案計画作成及び実施を行う。
 - 中心市街地活性化基本計画進捗管理
本基本計画の円滑な実施を目指し、中心市街地活性化推進協議会の開催や計画の周知、予定事業の把握などを行い計画を推進する。(行政などが実施)
 - TMOを側面から支援する
中心市街地のまちづくりの中核組織であるTMOを一般に周知し、より効果的に事業運営が出来るような環境の構築を推進するとともに、TMOの事業の促進を図る。(行政などが実施)
 - TMO事業構想改訂版の策定
TMOが地域のまちづくりの中核組織となれるよう、本基本計画を受けて、TMO事業構想を改訂し、事業・組織など、現状に対応できる形態を検討・構築する。(TMOなどが実施)

将来はこんな中心市街地に!!

高機能で暮らしやすく来て楽しいどこにもないまち

まちの伝統と文化を次世代に継承し、人が住み、そこで楽しみ(遊び)伝統を温めながらまちを形成する。

和歌山城や内川が観光資源として活かされ、観光客向けの土産物を扱う店も出店して、観光客が増加する。

セットバックした店舗、ポケットパークに設置されたオープンカフェなど、様々なまちのパターンが生まれ、混沌の楽しさにより人が滞留するようになる。

新しい都心のライフスタイルを持った住人が増加し、高齢者の趣味の活動の機会が増加するなど、あらゆる世代の人の交流拠点として機能し始める。

TMOなどにより、種々の店舗が適切に配置され、街の情報発信も絶えず行われ、交流者が増加する。

地域独自の商品提供や個性的な店主など、個店の個性化への意識が高まる。

★ 実行管理グループ(行政・商業ベース以外の事業を促進する組織)がきっかけ作り、誘導を行う事業
● 和歌山市中心市街地活性化連絡協議会(行政)が協議して進める事業
○ TMOがきっかけ作りや企画・誘導を行う事業

【用語解説】
*1 テナントミックス：商業集積の魅力が高めるために空き店舗・空地等を流動化させ、そこに不足している業種や必要な業種・業態の店舗などの適正配置を図ること。
*2 ユニバーサル：全てに共通であるさま。ここでは、「高齢者や障害者という区別をするのではなく、様々な人々に対応している、または全ての人々が共通して利用できる」という意。
*3 タウンモビリティ：電動スクーターや車椅子などをまちなかに用意し、移動に困難を持つ人に貸し出してショッピングや諸施設等への移動、散歩などを楽しんでもらうシステム。